

1. 活動報告（事務局 記）

- 10月1日（日） a) 湿地帯散策橋の修復。一部破損箇所取り除き済み
b) 湿地帯のエコアップ 池側の雑草除去 蓮田のがまの穂間引き
c) ビオトープ全域の草刈（稲刈り準備、草原、池の周囲）
※ 山口県絶滅危惧種2種 オギノツメの生育発見と勉強会
- 10月5日（木）見初小学校1年生27名引率先生2名のビオトープでの学習があり今井会長、田村副会長、原田マにてご案内いたしました。
小学生は池や川で楽しく魚獲りをして楽しい学習になったと思います。
- 10月15日（日）この秋一番の良い日に18年度もち米の刈取りが、行なわれました。コナギの生育障害、バッタイナゴの被害、台風被害等を皆の手でクリアしながら何とか例年通りの収穫になりそうです。
手刈り、手束ね、ハゼ懸け、落穂ひろいと親子、会員一緒になって大変楽しく行い、約一時間半で完了しました。参加者は「二俣瀬小学校の生徒」（子ども会）16名及び保護者9名「里山観察隊員」5名及び保護者会員4名、「自由参加者」小学生3名及びお父さん1名二俣瀬小学校校長先生、つくる会会員 20名 総勢59名でした。
- 10月21日（土）稲刈り、ハゼ懸けした稲を脱穀しました。今井会長他6名が参加されました。
午後は里山自然観察隊で、森の探検でした。木の実、キノコ、ロープワークのために森に入りました。遊ロード昭和山です。台風後の雨が降らない気候のためか木の実やキノコはとても少なかったです。でも隊員23名、保護者11名、会員8名が秋の森を堪能しました。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎ 見学者

- 9月10日 ネイチャークラブが毎月ビオトープで散策活動をされました。岡田さんよりビオトープ使用の連絡がありました。来月も活動されます。
- 11月25日 厚東川、厚狭川、有帆川協議会行事体験学習会があります。案内役を3名必要としています。

◎ 行事

- 11月5日（第一日曜日）の活動（宇部まつりへの参加）
- 11月12日（第二日曜日）の活動（維持作業）
- 11月25日（第四土曜日）の活動（維持作業）
午後は里山自然観察隊の第8回目の活動（里山の暮らし）

3. ビオトープ関連（ビオトープ周辺の植物） 美濃和 信孝

ヨメナとノコンギク

秋を彩る野菊を二種紹介します。ヨメナとノコンギク、この二種は薄紫の野菊で、見たところ花はそっくり、花の咲く時期も同じなので、ふつうの人はこの二種を区別して見ていないのではないかと思います。しかしこの二種は同じキク科でもヨメナはヨメナ属、ノコンギクはシオン属(英名は栽培種でおなじみのアスター)に分類される、れっきとした別種です。この二種の一番の区別点は、花の冠毛です。図に示したように、ヨメナは冠毛が非常に短く、0.5mmほどしかないのに対し、

ノコンギクは冠毛の長さが4~6mmもあるので、花が咲いていると容易に区別できます。この冠毛はタンポポでいえば綿毛です。花をむしって横から見れば一目瞭然ですが、花をむしらなくてもルーペで筒状花の間隙や花を横から見れば、ノコンギクは冠毛が見えます。また、ヨメナは茎の分岐が少なくバラバラに花が付いているのに対し、ノコンギクは茎の分岐が多いため、花がかたまって付いています。そしてノコンギクのつぼみは紺色が強く、「野紺菊」という名前の通りです。では花が咲いていないときはどこで見分けるか？ それは葉っぱです。ヨメナに比べるとノコンギクには毛が多く、触るとざらざらしています。またヨメナが幅広の葉なのに対し、ノコンギクは細長い、という違いがあります。しかし、遠目で見ただけでどちらかに見当をつける方法はあるでしょうか？ 確実とはいえませんが、それはあります。生育場所を見てください。ヨメナは田んぼの農道のわきとか休耕田など、湿った場所に生えますが、ノコンギクは山の尾根斜面やよく日のあたる畑のへりなど、乾き気味の場所を好んで生えています。例えばビオトープ内で咲いている紫色の野菊はすべてヨメナです。ノコンギクはどこかに咲いていないかと探したところ、須賀河内川を遡って新幹線の近く、畑の南斜面にその群落がありました。冠毛を伸ばし、タンポポのように種子を風で飛ばすノコンギクは荒地のパイオニア的存在です。それにひきかえ、冠毛を退化させたヨメナは、種子を遠くまで飛ばすことはなく、湿り気のある限られた場所で徐々に勢力を広げていこうという戦略をとっているのでしょう。生育場所に適応した種子散布の形をとっていることに自然の妙味を感じます。

山口県で薄紫色の野菊は、このヨメナ、ノコンギクと、以前紹介したヤマジノギクが一般的なところです。実はヨメナには、西日本に分布するヨメナとオオユウガギク、東日本に分布するカントウヨメナとユウガギクがあり、厳密には染色体の数を調べないと区別が付きません。今回はヨメナとオオユウガギクを総称して「ヨメナ」として紹介しました。そして白い野菊には、シラヤマギク、サワシロギク、シロヨメナとその亜種のイナカギクなどがあります。この野菊の仲間は、亜種や地域種など非常に複雑で、なかなか頭の中で整理がつかかねるグループです。いずれ機会をみてご紹介していきたいと思います。



ヨメナ (キク科ヨメナ属)

ノコンギク (キク科シオン属)

4. ビオトープ関連 (会員の声) (記)

今回は原稿が寄せられませんでした。

次回 会員 お願いします。

5. 里山自然観察隊（10月21日、隊員23名、保護者11名、会員8名）

森の探検（木の実、キノコ、ロープワーク）

○ キノコ

- ・ カワラタケ（色から見るとカイガラタケ？）、ホコリタケ（木に生えていたのでタヌキノチャブクロ？）、後2種見たが種名は不明（木に白い色のものと白+黒の皿状のもの）

○ 木の実

- ・ アラカシ、コナラ、スダジイ、クリオオバヤシャブシ、ヒメヤシャブシ、ガマズミ、アケビ、イヌザンショウ、ソヨゴ、コマユミ、シイモチ、チャノキ、カキ、クチナシ、ゴンズイ、ツバキ、サルトリイバラ、ノイバラ、アカマツ、クスノキ、フユイチゴ、ハゼ、シャシャンボ、ヒサカキ

（西原 一誠 記）

6. 来訪者の声（東屋のノートより一部抜粋）

今月はありませんでした。

7. 会よりの連絡事項

会の活動が二俣瀬校区の行事とも重なる事も多くあります。その都度連絡をしますが、紛らわしいときは何方かに問い合わせください。現在変更が決まっているのは

- ① 11月18日（第三土曜日）は地域の文化祭のため11月25日（第四土曜日） 午後「里山自然観察隊」も講堂が使えず変更です。
- ② 12月3日（第一日曜日）は二俣瀬昭和会の年末行事のため12月2日（第一土曜日）この日は収穫祭餅つきで毎年同様変更しています。12月1日はもち米水洗ほか準備もあります。

8. 編集後記

今年の秋も、異常気象なのでしょうか。10月も下旬を迎えようというのに、雨も降らず暑い日が続いています。昨日、宇部高ランド脇の道路を歩いていると、保育園の桜が咲いているのを見ました。

我がビオトープでも実りの秋を迎えましたが、異常気象あるいは台風の影響か、収穫は今ひとつです。米はやや不作、蕎麦は例年の半分以下でしょう。しかし、収穫をとおして、その年の天候を実感できることは貴重です。里山を歩き、木々の実り・色合いを見ることでも今年を振り返ることができます。街中に住み、移動に車のみ頼っていれば、自然の微妙な変化を気付くことができません。

来月以降、蕎麦の収穫、餅つき、ハスの収穫が続きます。これらに参加し、秋の実りを感じることで、今年1年が、どのような年であったかを想い浮かべてみませんか。

（前田 歳朗 記）